

レース名	斤量	クラス	コース	距離	馬場	レース質	荒れ度	自信度
中山金杯	ハンデ	GIII	中山	芝2000m	良想定	消耗	大荒れ	D

枠番	名前	騎手	父	父系統	母父	母父系統	斤量	能力	コース	馬場	血統	展開	総合	人気	印	結果
1	ロードクエスト	西村淳	マツリダゴッホ	サンデーサイレンス	チーフペアハート	ダンジグ	56	C	B	C	B	A	B	17	○	8
2	テリトリアル	石川	Teofilo	サドラーズウェルズ	Street Cry	ミスターダンク	56.5	C	B	A	B	C	B	3	▲	6
3	ココロノトウダイ	丸山	エイシンフラッシュ	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	53	C	C	A	B	C	C	5	△4	2
4	マイネルサーパス	丹内	アイルハヴアナザー	ミスターダンク	タマモクロス	グレイソヴリン	56.5	D	B	B	B	A	D	16	消	16
5	ショウナンバルディ	津村	キングズベスト	キングマンボ	Redoute's Choice	デインヒル	54	C	A	A	B	B	B	8	◎	13
6	カデナ	三浦	ディーブインパクト	ディーブインパクト	French Deputy	グレイソヴリン	58	B	B	D	C	D	D	6	消	11
7	マウントゴールド	内田博	ステイゴールド	ステイゴールド	Mt. Livermore	ブラッディルーム	56	E	B	C	B	D	E	15	消	9
8	リュヌルージュ	中井	モンテロッソ	ミスターダンク	メジロマックイン	パーソロン	52	C	B	B	B	C	C	12	△3	15
9	ヒシグアス	松山	ハーツクライ	サンデーサイレンス	Bernstein	ストームキャット	54	C	C	C	C	C	C	1	△2	1
10	アールスター	長岡	ロードカナロア	キングマンボ	サツカーボーイ	ファイントップ	56	C	C	D	C	B	D	13	消	5
11	ディーブポンド	和田竜	キズナ	ディーブインパクト	キングヘイロー	リファール	56	C	B	B	B	C	C	2	△1	14
12	ロザムール	北村宏	ローズキングダム	キングマンボ	Caerleon	ニジンスキー	52	D	C	B	C	D	D	14	消	4
13	シークレットラン	横山武	ダンカーク	ミスターダンク	キングカメハメハ	キングマンボ	54	C	D	D	C	D	D	7	消	7
14	ヴァンケドミンゴ	藤岡康	ルーラーシップ	キングマンボ	アグネスタキオン	サンデーサイレンス	56	C	C	D	C	C	C	4	△5	12
15	ダーリントンホール	Mデムーロ	New Approach	サドラーズウェルズ	Pivotal	スレイエフ	55	C	B	D	B	E	E	10	消	17
16	ウインイクシード	戸崎	マンハッタンカフェ	サンデーサイレンス	ボストンハーバー	シアトルスルー	56	D	B	D	C	D	D	11	消	3
17	バイオスパーク	池添	オルフェーヴル	ステイゴールド	マイネルラヴ	ミスターダンク	57	C	B	D	A	D	D	9	消	10

※背景色付は特注血統保持馬(名前欄に色付きは母母が保持)

※評価はこのレース中の相対評価になります

PREVIEW
前回開催の中山芝を見てかなり時計のかかる馬場コンディション。今週からCコースに替わって若干は馬場レベルは回復するだろうが、それでも時計のかかる馬場にはなりそう。前回開催を見ても最後まで外差し馬場にはなりませんでしたし、そこからのCコース替わりで普通に考えればインの方が有利な馬場になるはず。馬場レベル=Dでのイン先行有利馬場と想定する。
出走メンバーを見て、逃げたい馬こそロザムールぐらいだが前に行きたい馬、前に行く傾向のある騎手がズラリと揃った。外枠からロザムールがある程度主張していきそうですし、内の積極的な騎手たちが出ていく中を追いついて逃げるとなれば前半ペースはそこそこ流れそう。中山芝2000mは向こう正面から下り坂になるために中盤が緩まずのミドルラップになりやすく、前に行きそうな馬が多い点を考えてもかなりスタミナは問われる展開になるんじゃないだろうか。
そういった馬場、展開を想定して改めて出馬票を見ってみるが、明らかにイン差しが有利になりそうな割に内枠～中枠にしっかりと脚を溜めて差してこれそうなキャラの馬、及びそういう競馬をしそうな騎手があんまりいない。かと言って、7枠～8枠が過去10年で(0-1-0-42)という最悪な結果なのにわざわざバイオスパークやヴァンケドミンゴあたりの人気馬を買うのも違うだろう。ここは馬のキャラや騎手のキャラから、馬場、展開を味方にできるイン差しをする可能性が高そうな馬を相対的に評価して印をつけることにしました。
本命は◎ ショウナンバルディ が面白いんじゃないだろうか。キャリア序盤は逃げないとダメな馬だったが、岩田騎手の教育もあって控える競馬を会得。欧州血統なのでここに来てようやく本格化してきた感じもあり、もうハンデ戦のGIIIなら通用するレベルだろう。今回は内枠を引いた馬に前に行きそうな馬が多いが、その中でも津村騎手ならある程度溜めて乗ってくれそうですし、コメントを見ても折り合い第一の競馬になりそう。有力。
REVIEW
想定通りにロザムールが逃げたが、こちらが想定していたよりも2秒近く遅いペース。ロザムールが4着に残っているのを見ては圧倒的に前有利な展開だったはずで、相当に軽いレース質になっただろう。2着のココロノトウダイは完璧にインを捌いての好走ですし、3着のウインイクシードは完璧に展開に恵まれた感じ。その2頭に比べればヒシグアスは展開に恵まれていないので、単純にここでは能力上位だったか。

※文字色の意味 2021/1/5

赤…GOOD妙味大な馬 青…BAD危険な馬

紫…DARKHORSE穴馬

コース特徴

小回りで直線は急坂。5ハロ目から下り坂になるので中盤のペースが緩みにくい。スタミナ&持続力が問われる。

馬場レベル&バياس

馬場レベルDで重い、Cコース替わりでイン伸び馬場。

血統傾向

欧州血統が優勢。ノーザンダンサー系の成績が良く、日本競馬では活躍の舞台が少ないサドラーズウェルズ系の馬が3年連続で馬券になっている。冬の中山芝はロベルト系が特注血統。タフ馬場に強いステイゴールド系の馬の成績が圧倒的。

展開

内枠に先行意識が強い騎手と馬が揃った。おそらくロザムールは主張すると思うので、1コーナーまでは速くなるはず。前半1000m=60秒を切るペースになれば消耗差し決着になると思うが、インを差してこれるイメージがある馬がいない。

データなど特記事項

△7歳 (1-0-2-33) ×8歳上 (0-0-0-26)
△ハンデ53kg以下 (0-0-1-22)
○前走から斤量増で当日5番人気以内 (9-3-5-6)
○ハンデ56.5kg以上で当日2番人気以内 (3-1-2-2)
×7枠・8枠 (0-1-0-42)
×前走OP特別で10着以下 (0-0-0-15)

危険な馬

バイオスパーク=父がステイゴールド系で母がロベルトを持つ血統配合。中山金杯は前走からハンデ増の馬の成績が良いですし、内枠を引ければ素直に本命も考えていた。ところが蓋を開けてみればこの大外枠。函館記念、福島記念と重賞好走はどちらも内枠から完璧に立ち回ってのもの。

妙味大な馬

ショウナンバルディ=キャリア序盤は逃げないとダメな馬だったが、岩田騎手の教育もあって控える競馬を会得。欧州血統なのでここに来てようやく本格化してきた感じが、もうハンデ戦のGIIIなら通用するレベルだろう。今回は前に行きそうな馬が多いが、津村騎手ならある程度溜めて乗りそう。

穴馬

ロードクエスト=近3走は芝の中距離を使われているが、小倉記念は西村騎手の早仕掛け、福島記念は西村騎手のボツン騎乗で脚を余す。チャレンジは幸騎手で途中から捲る最悪の戦法と全てが酷い騎乗。小倉記念のレースぶりからまともなら通用していいはずで、今回は西村騎手が三度目の騎乗。

想定時計

上3F

下3F

2:00:2

35.4

36.5

想定ラップタイム

12.2 - 10.7 - 12.5 - 11.8 - 12.4 - 12.1 - 12.0 - 11.9 - 12.0 - 12.6

Copyright (C) 2014 - KAZ
AllRightsReserved.
本資料の一部または全部を、許可なく再配布することを禁じます。

枠番	名前	騎手	印	総合評価	想定人気	PREVIEW	結果	REVIEW
1	ロードクエスト	西村淳	○	B	17	近3走は芝の中距離を使われているが、小倉記念は西村騎手の早仕掛け、福島記念は西村騎手のボツン騎乗で脚を余す結果。チャレンジGは幸騎手で途中から捲る最悪の戦法と全てが醜い騎乗。小倉記念のレースぶりからもまともなら通用していいはずで、今回は西村騎手が三度目の騎乗。絶対好め上げましたし、小倉記念と福島記念の中間ぐらいの騎乗をしてくれば大穴の可能性。	8	何のために2回も乗ったのかという西村騎手の工夫も何もない騎乗。コーナリングの速さはさすがにだけにもう少し強気にインに取り付いていれば一発あった可能性。まだやれるが騎手が大事。
2	テリトリアル	石川	▲	B	3	一時期はスランプに陥っていた感じだが、オクトーバーSで先行策を見せてから復調傾向。福島記念では今回人気になるだろうバイオスパークやヴァンケドミンゴと差のない競馬ができています。馬場や枠などは明らかにプラスだろう。ただ、この馬に乗った時の石川騎手の騎乗を見てるとかなり積極的に乗りそう。今回は展開的にきつところを突っ込んで行きそうだと怖い。	6	今回は超スローペースすぎてキレ負け。昨年と同じだけの上りが使えているので単純に速いながりがダメなだろう。今回の負けで玄人層が見放しそうなので、次走注目馬のままとする。
3	ココロノトウダイ	丸山	△4	C	5	一連の成績を見ても明らかに福島巧者。血統的にはフェアリーポルカあたりと同じ中山巧者の血統になりますが、セントライト記念やスプリングSは展開や距離を考慮しても負けすぎな感じはします。今回も絶対好は引けたと思うので、最高に上手く立ち回ってどこまでやれるかという感じ。	2	今回は完璧に展開に恵まれていた。それでも勝負所での立ち回りの上手さはいかにも母系の中山巧者の血を受け継いでいる感じ。恵まれやすい馬なので次走危険馬までにはしなかった。
4	マイネルサーパス	丹内	消	D	16	父アイルハヴァナサーはロベルトを持っていますし、枠順やペースが流れそうな展開を考えてもいかにハマリそうなイメージ。ただ、七夕賞あたりから明らかに馬がおかしくなっている印象で、ベスト条件だった福島記念で全く走れなかったのを見てもちっと今の状態では買いにくい。	16	もう完全に馬が精神的におかしくなってしまった感じ。復調が見られない限りは買いにくくなってしまった。
5	ショウナンバルディ	津村	◎	B	8	キャリア序盤は逃げないがダメな馬だったが、岩田騎手の教育もあって控える競馬を会得。欧州血統なのでここに来てようやく本格化してきた感じもあり、もうハンデ戦のGIIIなら通用するレベルだろう。今回は内枠を引いた馬に前に行きそうな馬が多いが、その中でも津村騎手なある程度溜めて乗ってくれそうだし、コメントを見ても折り合い第一の競馬になりそう。有力。	13	スタート後に挟まれて位置を落とすロス。スローで展開が全く向かず、直線でも前が詰まって追えない。上りがかかる立ち回り戦なら通用するで覚えておきたい。
6	カデナ	三浦	消	D	6	大阪杯3着という結果を見ても能力自体はここでは最上位。イメージに反して長い直線よりも小回りコース向きの馬で、コース形態も今回は合うイメージはある。ただ、昨年も大外枠だったとはいえ後方からロスなく捌いて差し込んで見せ場はなし。今年もおそらく内枠でも同じような競馬になるはずで、タフ馬場の中山コースで58kgだと厳しい感じがします。	11	最後方追走で間違いないペースは向いていない。ただ、いつも最速上りが出せている馬がロードクエストに差し負けるといのはどうなのか。若干の衰えはありそう感じがします。
7	マウントゴールド	内田博	消	E	15	前走は長期休業明けというハンデがあったとはいえちょっと負けすぎな感じ。陣営コメントを見ても今回は積極策を取りそうですが、先行馬がズバリと揃っている点を見ては展開が向くとは思えない。	9	最後はインを突いてそれなりに伸びてはいた。高齢馬ではあるが復調は見られた。オープンぐらいならもう一発あってモ。
8	リュヌルージュ	中井	△3	C	12	サドラーズウェルズを持っているモンテロッソ産駒らしく、タフな上りのかかる条件で渋とく伸びてくるタイプ。エリザベス女王杯は消極的な鞍上の騎乗ミスにはまずまずの競馬ができていましたし、七夕賞は外差し馬場で最内を通りながら牡牡とそこそこの差で競馬ができていれば評価してもいいか。今回も中井騎手がどう乗るかが鍵だが人気ないなら抑えておいても。	15	好位から完全に伸びあぐねた。ちょっと展開を考えても負けすぎな。スローペースが合わなかったにしても牡牡相手では厳しかったのか。
9	ヒシイグアス	松山	△2	C	1	ここ2戦はかなりのスローペースからの瞬発戦で展開自体は恵まれた。ハーツクライ産駒なので今回で一気にペースが上がる点は心配だが、ある程度は自在に競馬ができそうなタイプですし、堀厩舎で松山騎手というコンビは今回のメンバーでは信頼度は上だろう。抑えておきたい。	1	条件戦と同じくスローペースからの上りが勝負になったのは良かったか。それでも展開無視で差し切っているで能力上位だった。成長期ではあるがペース流れてどうなるかは半信半疑。
10	アールスター	長岡	消	D	13	ここ2戦は新潟コース適性がゼロでなおかつ超スローに泣かされた新潟記念。明らかに距離が長くて東京コース適性もなかったアルゼンチン共和国杯と度々視できる内容。小倉記念では本命を打ちましたし、今回もコース形態は合いそう。ただ、一連のレースぶりを見てもタフ馬場が得意ではなさそうで、小倉記念のような高速馬場向きか。展開は向きそうだが今の馬場が微妙。	5	スタート自体は良かったが挟まれてポジションを落としたのが痛かった。不利さえなければ馬券圏内だったでしょうし、まず間違いない今後どこかで小回り条件で穴を開けるだろう。
11	ディーブボン	和田竜	△1	C	2	ダービー5着や菊花賞4着の結果を見ても、明け4歳世代では上位の存在だとは思いますが、コントレイル、サリオス、アリストテレスあたりを除くこの世代はレベルが低い印象。いかにも相手なりに渋とさを活かすタイプに見えますし、ここで人気で買いたい馬ではない。和田騎手なら積極策でしょうが、今回は前にいきたい馬もそれなりにいるので展開もそこまで向きはしないか。	14	有馬記念の除外でここを使ったが距離不足で位置が取れず。展開も向かずで位置が取れずで最後は詰まって追えていない。もう少し長い距離で持続力を活かせれば重賞でもやれるだろう。
12	ロザムール	北村宏	消	D	14	タフ馬場不問で地味ながら相手なりに走れる先行馬。ただ、さすがに前走は馬場も展開も完璧に恵まれた感じで、それでいてタイムラングEとなると重賞ではなかなか厳しそうな感じ。この枠から先手を奪うのもエネルギーが必要そうだし、それなりに前にいきたい馬が揃った点を見ては厳しいイメージです。	4	初の重賞挑戦でこれだけやれたと言えれば聞こえはいいが、この馬でも4着に粘るぐらいのスローペースだったということだろう。キアラがはっきりしているので活躍の馬はありそうだが。
13	シークレットラン	横山武	消	D	7	能力はありますし上りがかかる中山コース適性もあり。ただ、スピードに欠けるので今回は2000mという距離が短いはず。過去の2000mのレースを見ても4コーナーで手が動いていますし、道中でペースが緩まない重賞レベルの2000mだと厳しそう。横山武史騎手がどういう乗り方をするにしても、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪な成績。	7	危機した通りで距離不足で位置が取れず。最後に差してきたのを見ても能力は通用する。いかにも2200mあたりで持続力を活かして良さそうなので、次走がAJCCなら面白いんじゃないだろうか。
14	ヴァンケドミンゴ	藤岡康	△5	C	4	福島記念は2着に負けたとはいえ、4コーナーでのコース取りを考えればバイオスパークよりも強い内容。戦歴を見ても福島巧者というのは間違いないさそうだが、本格化しつつある今なら中山でも問題なさそう。ルーラーシップ産駒の差し馬なので外を回しそうだが、外枠の馬の中では差してくるイメージは最も薄く。ただ、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪なので抑えまで。	12	藤岡康太騎手なのに位置を取りに行ったあたりは陣営指示が出ていたか。前に行って展開には恵まれていたはずだが全く伸びず。疲労があったのかよくわからない負け方となった。
15	ダーリントンホール	Mデムーロ	消	E	10	ここ2戦はデムーロが乗って十八番の出遅れ2連発。そもそもこの明け4歳世代はコントレイルとサリオス以外の馬の能力が怪しいですし、今回は大外枠でなおかつ引き続きのデムーロ騎乗となると出遅れる可能性が非常に高い。木村調教師のコメントを見ても仕上がりはまだまだとのことですし、おそらく人気にもならないんじゃないだろうか。	17	今回もスタートで出遅れ。陣営コメント通りに全く仕上がっていないかったか。調教の変化なりレースで変わり身が見られないとなかなか買いにくい。次走注目馬からは外す。
16	ウインイクシード	戸崎	消	D	11	昨年の2着馬ではあるが、どうも近2走が全盛期に比べると落ちるパフォーマンス。もう明け7歳になりますし、昨年に比べると能力が落ちているんじゃないだろうか。その昨年と比べても枠順が最悪ですし、前に行くならば展開が向かないそう。下げてもズバツと差せるような馬ではなく、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪な成績。	3	昨年よりも衰えは見られたが、その昨年以上に展開に恵まれた感じ。位置を取りに行った戸崎騎手の好騎乗ではあるが、さすがに今回は展開に恵まれすぎだろう。
17	バイオスパーク	池添	消	D	9	父がステイゴールド系で母がロベルトを持つ血統配合。中山金杯は前走からハンデ増の馬の成績が良いですし、内枠を引ければ素直に本命も考えていた。ところが蓋を開けてみればこの大外枠。函館記念、福島記念と重賞好走はどちらも内枠から完璧に立ち回ったものの。外を回して優位に立てるほど能力も抜けていませんし、中山金杯の7~8枠は(0-1-0-42)と最悪な成績。	10	大外枠で外を回されて脚がたまず。今回に関してはもう枠順に泣いたというのが全てだろう。まあ内枠を引いた途端に人気になりそうなので、あんまり次走注目馬にはしにくい。